

株式会社 **MORESCO**

地球にやさしいオンリーワンを世界に届けるMORESCOグループ

個人投資家説明会

東証スタンダード 5018 (石油・石炭製品)

2026/3/14

目次

- 会社概要

- 第10次中期経営計画

- トピックス

目次

- 会社概要

- 第10次中期経営計画

- トピックス

会社概要

名称	株式会社MORESCO
英文名	MORESCO Corporation
本社所在地	神戸市中央区港島南町5丁目5-3
設立	1958年(昭和33年)10月27日
資本金	2,118百万円
代表者	代表取締役社長 CEO 両角元寿
従業員数	[連結]795名 [単体]372名 (2025年2月末)
売上高	34,374百万円 (2025年2月期：連結)
事業内容	特殊潤滑油、素材、ホットメルト接着剤、エネルギーデバイス材料などの開発、製造、販売

本社・研究センター



赤穂工場



千葉工場



沿革

1958

株式会社松村石油研究所設立



2009

株式会社MORESCOに社名変更

松村石油研究所の頭文字をとってMORESCOとした

2001

神戸市に本社移転

2015

第2研究棟設立



1966

千葉工場を建設

1995

特殊潤滑油の海外進出



2012

ホットメルト接着剤の海外進出

1959

兵庫県西宮市に
本社・工場を建設

1986

赤穂工場を建設

国内・海外拠点

➤ 日本を軸に東南/南アジア・中国・北米を極とした海外市場の事業拡大を推進しています

国内・海外拠点数
14社 27拠点
(2026年1月)

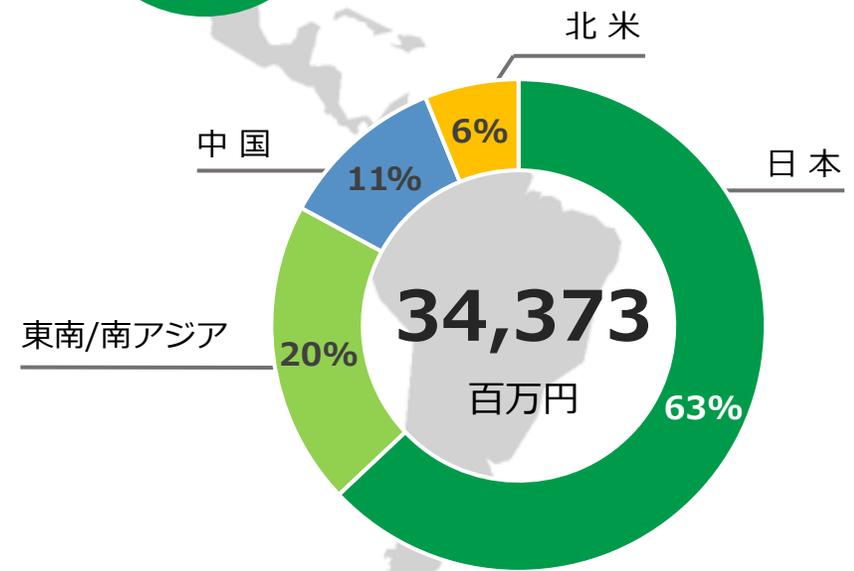
連結従業員数
795人
(2025年2月)

中国
4社 7拠点

日本
4社 12拠点

北米
2社 2拠点

東南/南アジア
4社 6拠点



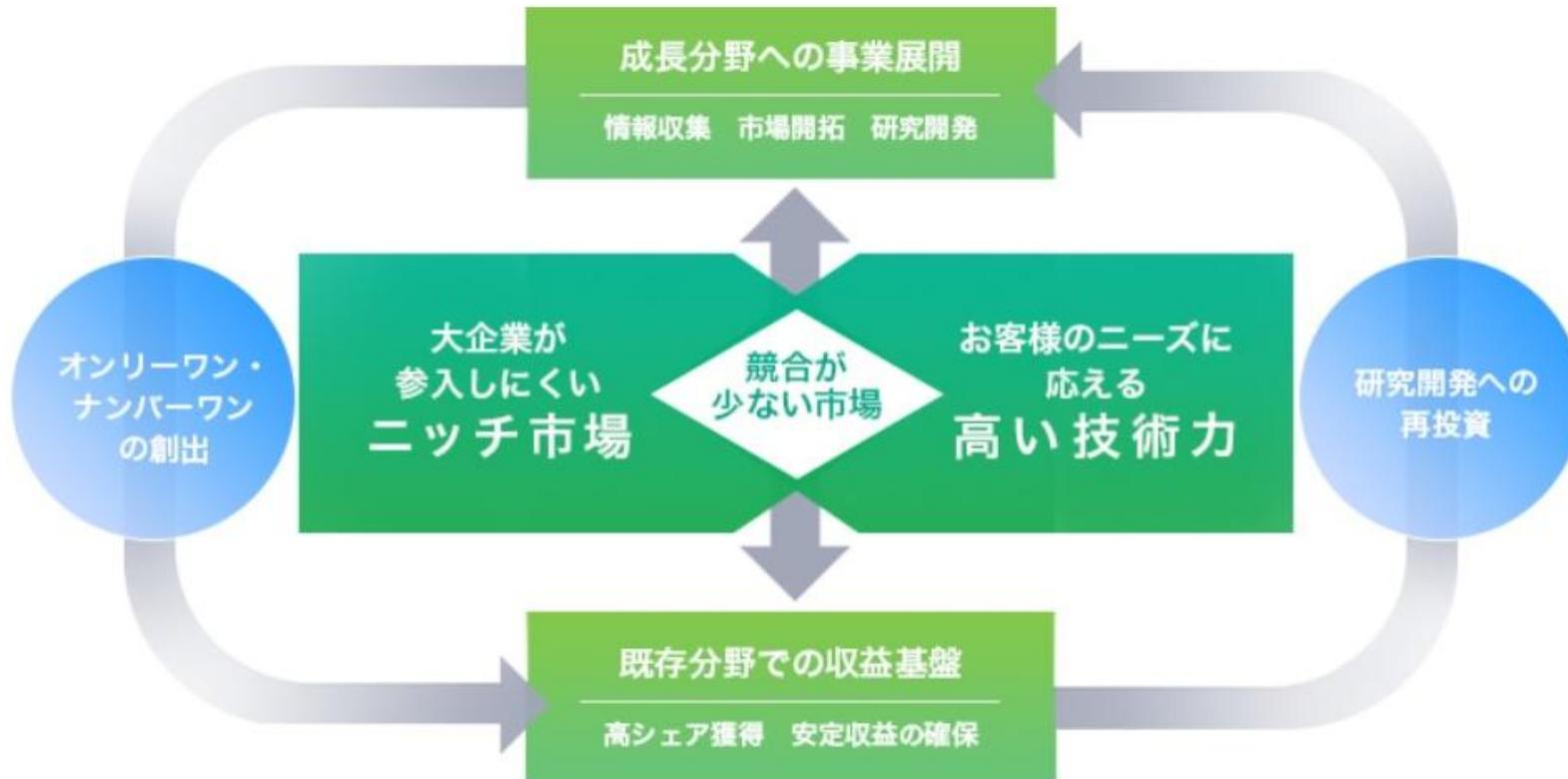
2025年2月期のセグメント別売上高

地球にやさしいオンラインを
世界に届けるMORESCOグループ

未来のために もっと化学 もっと輝く

当社の強み

- 当社は、1958年の創立以来、ブレンド・合成・精製技術を駆使し、オンリーワン製品やトップシェア製品を生み出しています



■ 境界領域のスペシャリスト

- モノとモノが触れ合う境界領域。当社の製品は、この“境界領域”で潤滑、接着、表面保護等の機能を果たしています。境界領域は、当社にとって無限のフィールドです
- 当社は境界領域のスペシャリストとして、世界に通用するオンリーワン製品、高付加価値製品の開発に挑戦し続けます

事業紹介

機能材事業

工場や設備向けの工業用潤滑油



エネルギー
デバイス材料
部門

有機デバイス分野に使われる封止材、測定装置



特殊
潤滑油
部門

精密機械や過酷な環境で使われる
合成潤滑油



合成潤滑油事業

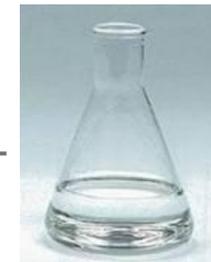
ホットメルト
接着剤
部門

紙おむつや粘着ラベル
などに使われる接着剤



素材
部門

化粧品原料に
使われる添加剤



研究開発
型企业

特殊潤滑油部門

機能材事業

ダイカスト用離型剤

- 冷えて固まった金属の型離れを良くするための油剤



高真空ポンプ油

- “真空状態”を作るためのポンプに使用される潤滑油



合成潤滑油事業

高温用潤滑油

- 自動車電装補機用グリース基油として世界市場でオンリーワン製品



ハードディスク表面潤滑剤

- クラウドサーバ等に使用されているHDDに使用されるオンリーワン製品



ホットメルト接着剤部門

ホットメルト接着剤

- ・加熱すると溶け、冷えると固まる接着剤
- ・有機溶剤を含まず環境や人体に優しい
- ・紙おむつ等の衛生材分野や、ラベル等の粘着材分野に展開



熱で溶けて液状に



(主要な使用分野)

衛生・日用品



自動車内装



オンリーワン

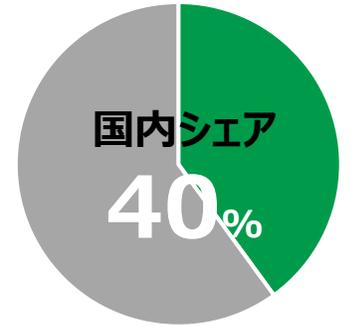
包装資材



“自動車内装向け反応型接着剤”独自構造のオンリーワン製品

流動パラフィン

- ・鉱物油を無色透明・無味無臭にまで精製した「人に優しいオイル」
- ・安全性が高く、化粧品原料やリチウムイオン電池膜等の分野に展開



石油スルホネート

- ・油への溶解性に優れた工業用の界面活性剤
- ・乳化剤、中和・分散剤、防錆・防腐剤等、様々な用途に展開



製品構成（用途別）

➤ 自動車関連分野での売上高が4割強を占めます



化粧品・トイレタリー 2%

冷熱媒体 2%

鉄鋼 3%

ポリスチレン 4%

真空機器 4%

情報機器 5%

その他接着
6%

その他
13%

衛生材料
17%

自動車
45%



注) 2025年2月期連結売上高に基づき作成

目次

● 会社概要

● **第10次中期経営計画**

● トピックス

第10次中期経営計画（2024-2026）

第10次中期経営計画のテーマ

「持続可能な社会の実現」と「事業の付加価値の向上」の両立

基本方針

主要な取り組み

サステナビリティ経営の推進

- ・カーボンニュートラルの推進
- ・MGS製品認定制度と売上比率の引き上げ
- ・環境負荷低減への取り組み

製品ポートフォリオの高度化

- ・高付加価値製品の開発と売上拡大
- ・サーキュラーエコノミーへの対応

次世代事業の創出

- ・研究開発体制（MOLGADC）の推進
- ・ライフサイエンス事業への注力
- ・ペロブスカイト太陽電池関連の事業推進
- ・耐放射線性潤滑剤の開発

業務プロセスの革新

- ・生産プロセスの革新
- ・DX化の推進
- ・物流問題への対応

資本収益性の向上

- ・PBR改善に向けた施策
- ・株主還元
- ・人的資本経営の推進
- ・IR活動の強化

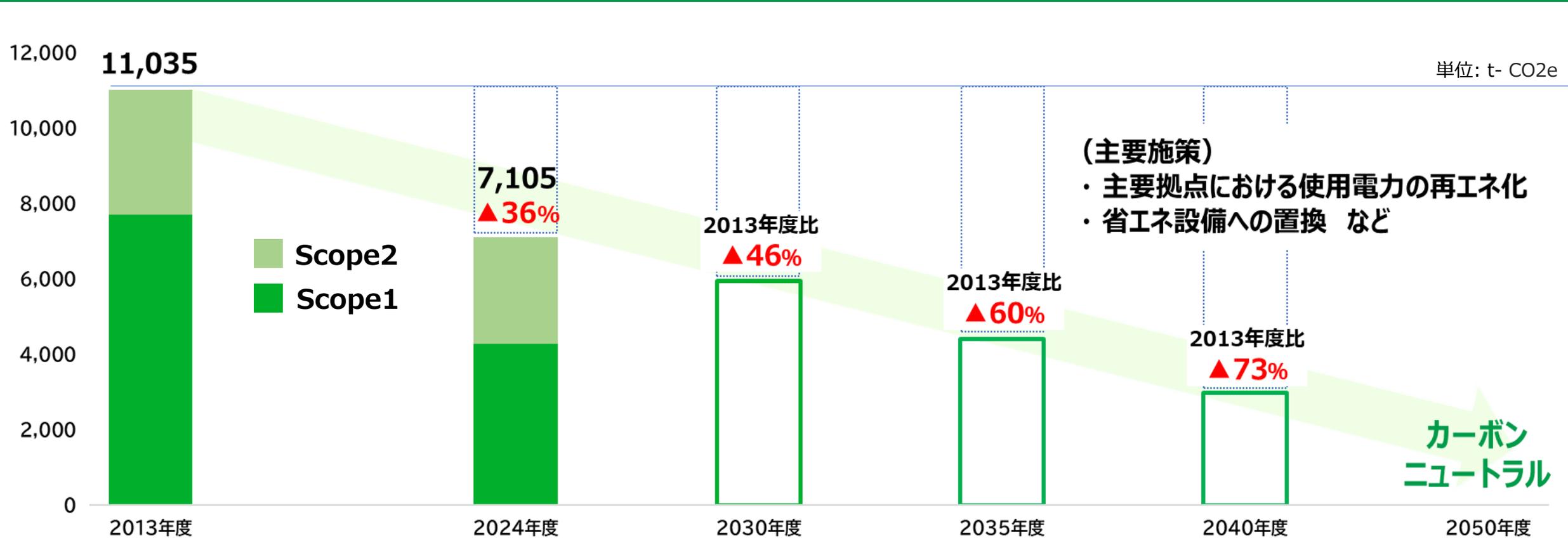
サステナビリティ経営の推進-カーボンニュートラルに向けた取り組み

- 2030年までに自社消費エネルギーによるGHG排出量を46%削減(2013年対比)
- 2050年までにカーボンニュートラルを実現します



2022年11月11日賛同表明

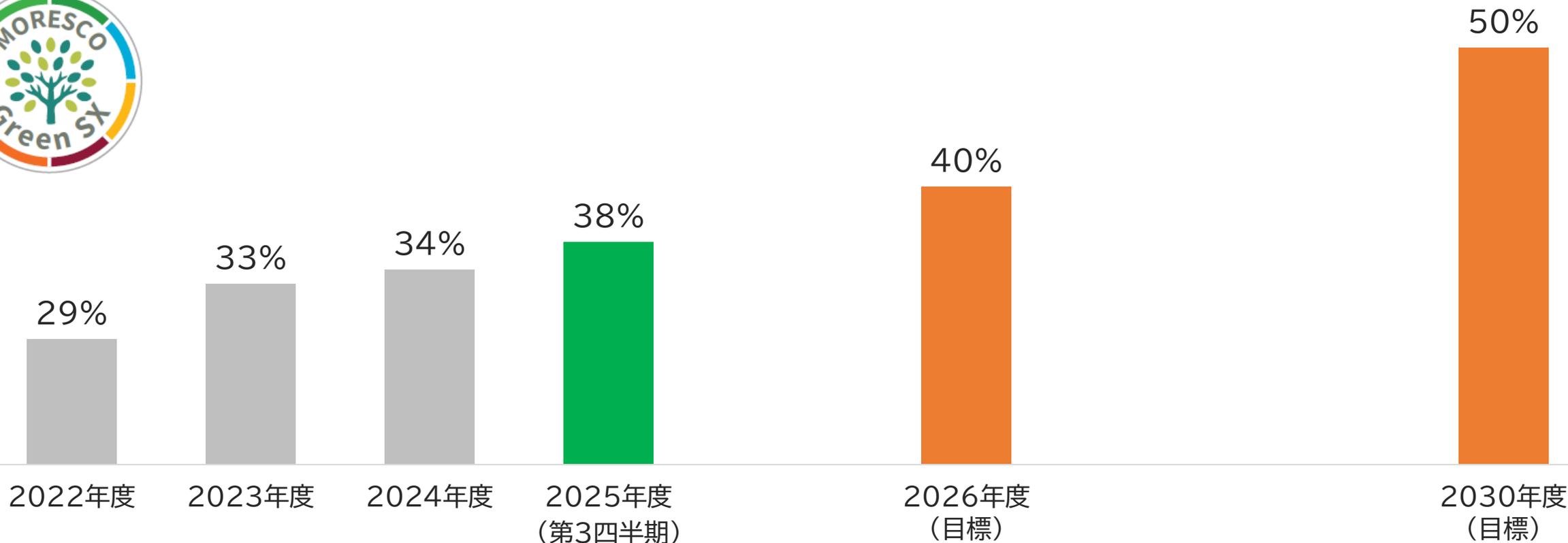
MORESCOグループ(国内)のカーボンニュートラルへのロードマップ



サステナビリティ経営の推進-MORESCO Green SX製品売上比率

- 2030年度50%の目標達成に向けて、既存製品の改良、新製品の開発の取り組みを推進しています
- 付加価値の高いMORESCO Green SX製品の売上拡大により製品ポートフォリオの高度化を進めます

MGS売上比率目標



サステナビリティ経営の推進-MGS製品の環境負荷低減効果

➤ 廃水、GHG（温室効果ガス）において大幅な削減効果があり、環境負荷低減に貢献しています

MGS代表製品

水溶性少量塗布型離型剤
グラフェースMQシリーズ

省エネルギー

環境保全

作業環境改善



水-グリコール系難燃性作動液
ハイドール

CO₂排出抑制

環境保全



MQシリーズの環境負荷低減効果

・離型剤塗布量 99.6%削減
・廃液量 ゼロ

廃水削減量
200T/年

GHG削減量
7.5T/年

※ ダイカストマシン1台当たりの計算数値

製品ポートフォリオの高度化-高付加価値製品の開発と売上拡大

➤ ハードディスク表面潤滑剤の売上拡大を図ります

HDD市場（ニアラインストレージ）の推移

当該グラフは掲載許可期限終了のため
非表示としています。

ハードディスク表面潤滑剤について

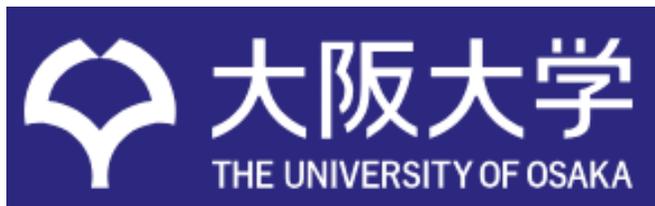
- 当社のハードディスク表面潤滑剤は、ディスクに記録された情報をナノレベル※の薄膜で保護し、ハードディスクの信頼性向上に貢献しています。
- 当社は顧客ニーズに対応した新製品の開発を継続することで、シェアの維持・拡大に努めています。

※ナノ：十億分の一



次世代事業の創出-ライフサイエンス事業（創薬分野 オートファジー活性化薬）

- 愛媛大学、大阪大学、東京大学、奈良県立医科大学、APGOなどと共同して、オートファジー活性化薬の開発を進めています



■ オートファジーとは

- ・細胞内を正常な状態に保つために、細胞内の物質を分解する、いわばリサイクル業者のような働きのこと、生命維持に欠かせない細胞がもつシステムのことです。歳をとると多くの細胞でオートファジーの機能が低下すると言われています。
- ・オートファジーを活性化できれば健康長寿につながると期待されており、オートファジーの研究に注目が集まっています。

次世代事業の創出-ライフサイエンス事業（ナノエマルジョン）

➤ 自社化粧品での実績を大手化粧品メーカーでの当社ナノエマルジョンの採用につなげます

当社のナノエマルジョン技術

✓ 自社化粧品に使用するのは18nmのナノエマルジョンです。角質層に浸透していき、肌の調子を整えます。



出所：当社作成

イリグラシア（自社化粧水・美容液）



▶ 公式Instagramのご案内



上記のQRコードを読み込むことで公式Instagramにアクセスできます。

VAナノローション
（化粧水）

VAナノセラム
（美容液）

次世代事業の創出-ペロブスカイト用封止材

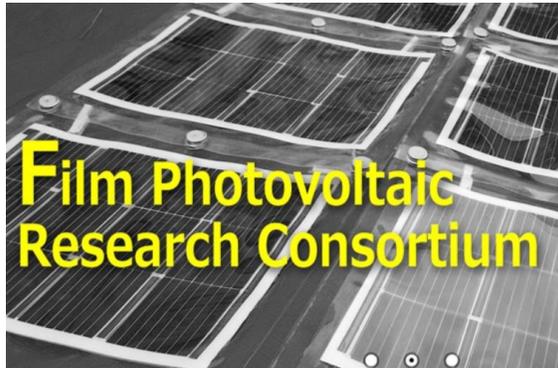
- 技術連携コンソーシアム（桐蔭横浜大学 宮坂教授）との協働、フィルム太陽電池研究コンソーシアム（京都大学 若宮教授）入会など、ペロブスカイト（PSC）用封止材の早期開発の取り組みを加速しています

最近の開発活動例

- ・ 宮坂教授（桐蔭横浜大学）と連携し、実証実験用PSCを高槻市の農園に設置。当社の封止材を使用
(2024年10月)

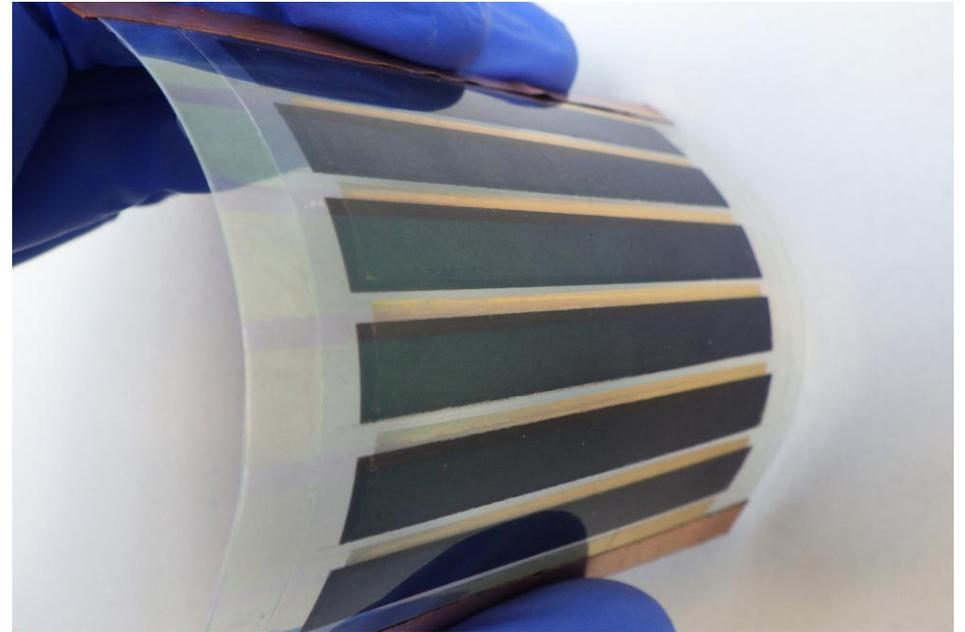


- ・ フィルム太陽電池研究コンソーシアム※に入会（2025年4月）



※ フィルム太陽電池（主にペロブスカイト太陽電池）の実用化を加速するために設立された京都大学若宮教授が代表を務める共同事業体です。幅広い分野の企業が参画しています。

次世代太陽電池「ペロブスカイト」試作品



出所：桐蔭横浜大学

当社封止材の特徴

1. 直接貼り合わせてもペロブスカイト素子にダメージを与えない
2. 基材に貼り合わせるだけで優れた密着性を発揮(加熱やUV処理が不要)

次世代事業の創出-「核融合発電」への関与加速

➤ 核融合施設の開発において、当社は固有技術の耐放射線性潤滑剤で貢献します

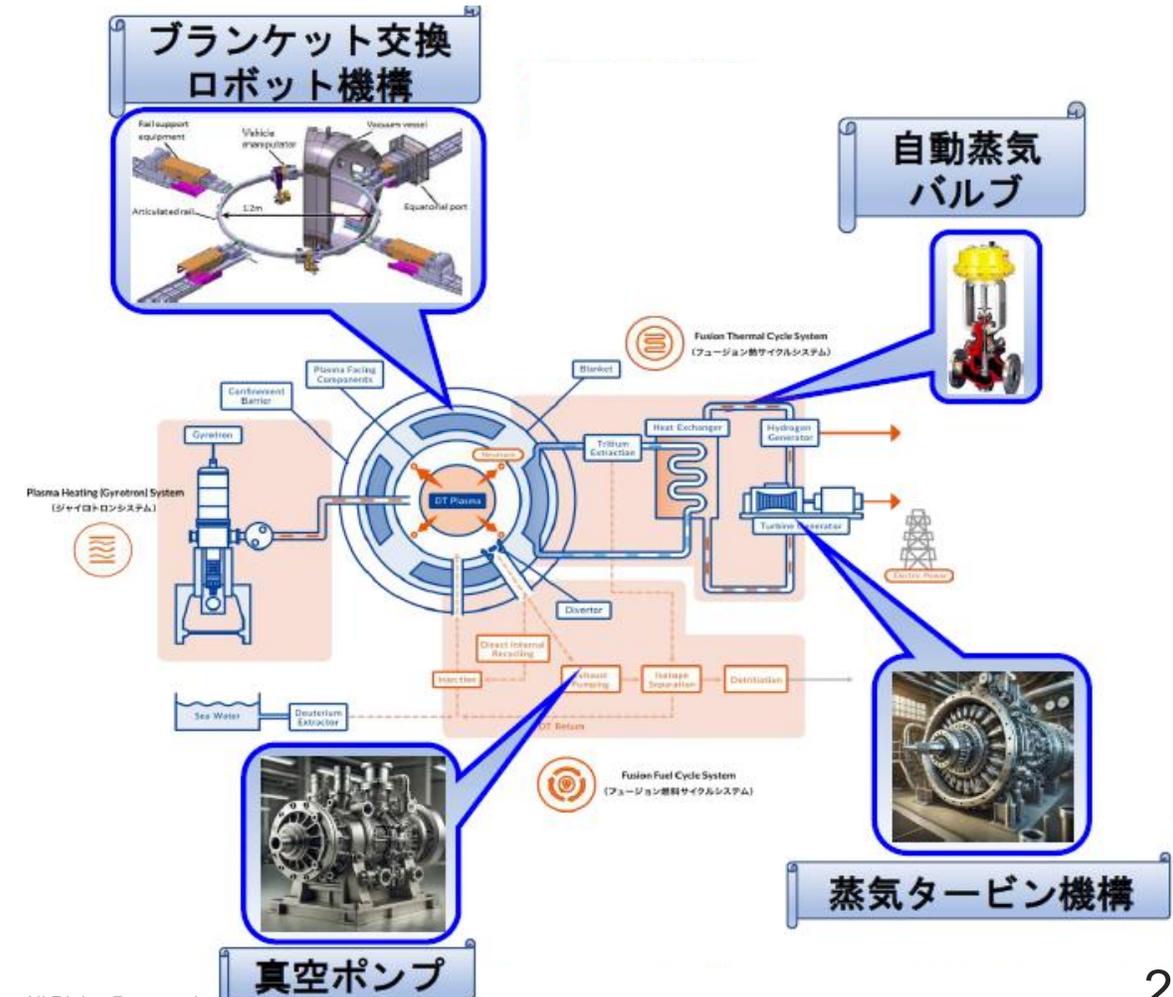
当社の耐放射線性潤滑剤（モレスコハイラッド）

- 当社のモレスコハイラッドは、原子力発電、加速器、福島原発の廃炉などの高放射線下でも世界最高レベルの性能を発揮します。

京都フュージョニアリングとの業務提携

- 2025年5月、当社は、京都フュージョニアリングと将来のフュージョン（核融合）プラントに用いられる耐放射線性潤滑剤の共同開発および販売に関する業務提携を開始しました。

利用が想定される核融合炉の周辺設備



第2研究センターの建設

- 新規事業の創出に向けて、現在、新たな研究センターを建設しています。2027年初旬までの運用開始を目指しています

第2研究センターの外観イメージ



研究センターの所在地



第10次中期経営計画-経営目標

		2023年度 実績	2026年度 計画
		(百万円)	
業績	売上高	31,886	38,000
	売上高成長率	-	6%※
	営業利益	1,225	2,700
	営業利益率	3.8%	7.1%
	経常利益	1,826	3,000
	当期純利益	1,283	-
資本効率性	ROE	6.6%	8%水準
	連結配当性向	32.4%	30%以上
非財務目標	MGS製品の売上比率	33%	40%

※2024年2月期からの年平均成長率（GAGR）

目次

● 会社概要

● 第10次中期経営計画

● トピックス

2026年2月期（第3四半期）の業績

➤ 売上高

- タイおよび北米を中心に海外での自動車生産台数が減少したことなどを受け減収

➤ 営業利益

- 高付加価値製品の拡販、販管費および一般管理費の抑制により大幅増収

➤ 当期純利益

- 営業外利益は減少したものの、経常利益、当期純利益は高い増収率を維持

	25/2期 第3四半期	26/2期 第3四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
(単位：百万円)				
売上高	25,917	25,573	▲344	▲1.3%
売上総利益	7,502	8,017	+515	+6.9%
販管費	6,390	6,346	▲44	▲0.7%
営業利益	1,112	1,671	+558	+50.2%
営業外利益	247	128	▲120	▲48.4%
経常利益	1,359	1,798	+439	+32.3%
税引前利益	1,312	1,796	+484	+36.9%
当期純利益 [※]	819	1,175	+356	+43.4%

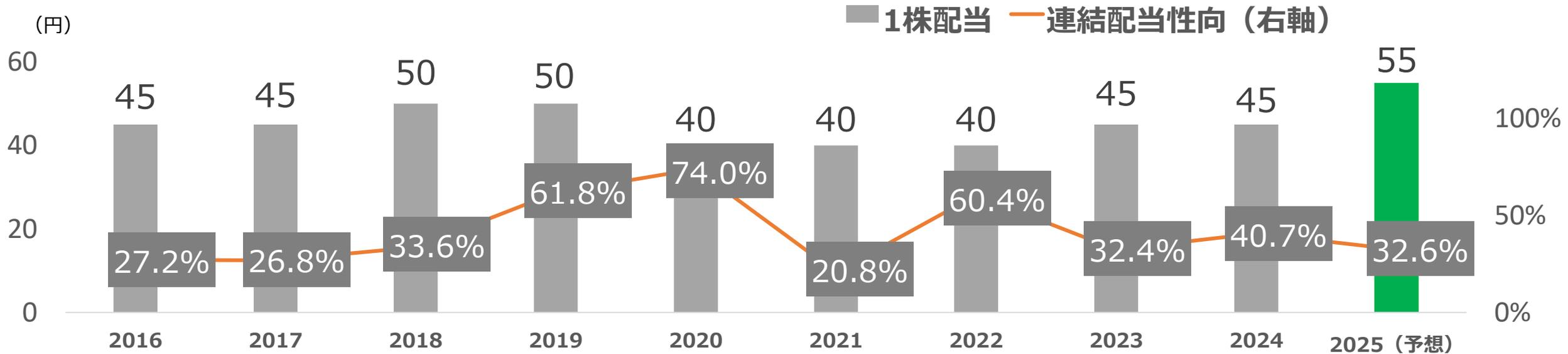
※親会社株主に帰属する当期純利益

2026年2月期の業績見通し（2026年1月28日の修正後）

(単位：百万円)	2025年2月期 実績	2026年2月期 予想	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	34,374	35,000	+626	+1.8%
営業利益	1,391	2,400	+1,009	+72.5%
売上高営業利益率	4.0%	6.9%	+2.9	+72.5%
経常利益	1,821	2,700	+879	+48.3%
売上高経常利益率	5.3%	7.7%	+2.4	+45.3%
当期純利益	1,013	1,550	+537	+53.0%
1株当たり年間配当金	45円	55円	+10円	+22.2%

株主還元

- 株主還元を経営上の重要課題と位置づけ、適正な内部留保に努めつつ利益還元を行います
- 連結配当性向30%以上を中長期的に目指した配当を行います
- 通期業績見通しの修正に伴い2025年度の予想配当の増額修正を行いました



株主優待

対象：毎年2月末日現在の株主名簿に記載または記録された**300株以上**の当社株式を保有されている株主様

優待内容：300株以上かつ**継続保有期間3年未満** QUOカード 3,000円分
300株以上かつ**継続保有期間3年以上** QUOカード 4,000円分

*毎年2月末日を基準日として年1回実施、5月下旬に事業報告書に同封してご送付

トピックス（海外事業における収益基盤の強化）

➤ 北米および中国における経営体制を見直します（2025年12月12日公表）

北米におけるグループ会社2社の 合併について

北米の当社連結子会社である MORESSCO USA Inc.(米国ミシガン州)と、CROSS TECHNOLOGIES N.A.INC.(米国ミシガン州)の合併を行いました。

中国のホットメルト工場（天津） の解散について

現在、当社グループのホットメルト接着剤事業は、日本、中国、インドネシア、インドで展開しております。
グローバル生産体制の見直しに伴い、中国の工場を解散し清算することといたします。

5年連続認定

健康経営優良法人(大規模法人部門)

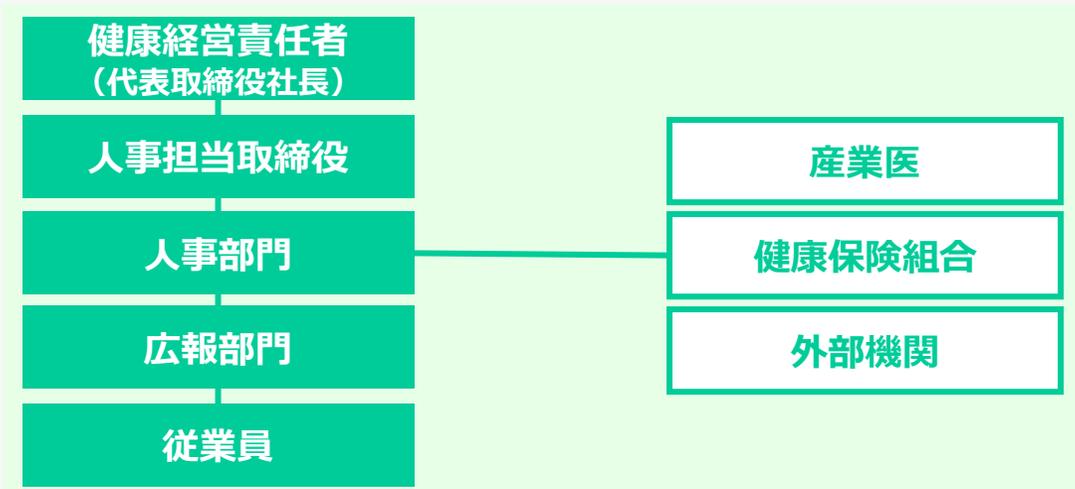


2025
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
大規模法人部門

健康経営宣言

当社は、従業員が心身ともに健康であることが、企業の持続的な発展に不可欠と考え、「一人一人が豊かな環境で育ち、新たな価値を育てていく会社」を実現するため、従業員の健康づくりを推進していきます。

健康経営推進体制



取り組み

- 介護・育児時短勤務制度・フレックスタイム制度
- 全従業員有給休暇取得率向上の推進（目標60%以上）
- ストレスチェックの定期実施

	2022年度	2023年度	2024年度
有給休暇取得率	74%	76%	75%
男性の育児休業取得率	63%	67%	78%

地球にやさしいオンリーワンを世界に届けるMORESCOグループ



MORESCOグループ統合報告書2025

- この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点における当社の判断に基づくものであり、今後、予告なしに変更することがあります。
- 本資料記載の業績見通しや目標数値のみに全面的に依存して、投資判断を下すことによるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。
- なお、当資料を無断で複写複製、配布することを禁じます。